

道路は、地域経済・社会活動を支える重要な役割を担い、また、地域発展を図るための最も基本的な社会資本であります。平成17年4月1日にわが愛西市は4町村が合併し、これから地域の均衡ある発展と新市としての一体性を確立するため幹線道路網の整備やアクセス道路の整備を行い、地域住民のくらしの利便性・安全性の向上、地域連帯や振興、更に福祉や緊急医療に貢献していかなければなりません。しかしながら、道路整備費を行うための財源確保が厳しい状況にあるため補助金制度をさぐるなどに手間取り地域づくりにふさわしい市道整備の推進にまで至っていません。

一方、今なお葛木渡船・日原渡船といった渡し船によることから、当市にとっても重要な橋として木曾川・長良川新架橋があります。当地域は木曾三川で隔てられた愛知・岐阜の県境に位置し、両県の経済・文化の活性化などの各種交流を始めとして、一体的な発展を図る上できわめて重要な交通の要衝であり、道路整備が緊急の課題となっています。近隣市町と連携をとりながら事業推進をしておりますが、遅々として事業化への道のりに至っておりません。

また、本市のほぼ全域が海拔ゼロメートル地帯で、洪水、東海・東南海地震の指定区域にも指定されているこの地域は大きな災害が心配されおり、市民の生命等を確保することは行政の使命であり、災害時の食料や復旧資材の運搬に必要な日光川右岸堤防道路などの建設も重要で、早期完成に向け関係市町村と連携をとりながら進めていますがこれについても、その進捗状況は悪く住民の不安が募っています。

更に道路整備で地域から強く要望されているものがあります。それはこの地域を縦断予定の東海北陸自動車道と伊勢湾岸自動車道を結ぶ一宮西港道路であります。これはこの地域のみならず東海地方と北陸地方の経済発展と文化交流を促進するための重要な道路であり、一日も早く地域高規格道路の計画路線に位置付けすべきであるとの声が高くなってきています。このように、挙げれば切りがありませんが、私ども地方におきましては道路整備が遅れており安全安心な市民の生活、経済性・防災上と多岐にわたって道路整備が進んでおりません。こうした状況をご賢察のうえ、何とぞご支援を賜りますようこの機会に要望を兼ねご意見申し上げます。

平成19年4月25日

愛知県愛西市

市長 八木 忠 男

